

# 地域の 防災・防犯活動を を支援します

【問い合わせ先】  
地域安全課 (☎ 22-3101)

【表1】 自主防災組織への補助の内容

補助対象物品など	補助期間	補助率	上限額
緊急告知FMラジオ、ヘルメット、救急医療セットなどの防災用資機材	-	3分の2	14万円
防災活動に係る謝礼、旅費、研修会参加費、印刷製本費、通信費などの経費	設立後3年間	-	2万円

【表2】 地域の防犯活動への補助の内容

補助対象物品など	補助率	上限額
帽子、ジャンパー、腕章などのパトロール用品。のぼり旗、パンフレットなどの防犯意識啓発用品。防犯活動ビデオ・DVDなどの防犯研修用品	3分の2	8万円

市では、地域住民の自主的な防災・防犯活動を、次のごとく支援しています。ご活用ください。

## 自主防災組織への支援

中越大地震や中越沖地震などの経験から、住民同士が助け合って災害に備え、自主的に活動する「自主防災組織」の必要性が叫ばれています。

当市でも、自主防災組織の全市的拡大を推進することも、組織の育成強化のため、防災用資機材の購入や活動費に対する助成を行っています。申請方法など、詳しくは、消防防災係へお問い合わせください。

### 【対象となる組織】

コミュニティや町内会などの自主防災組織。ただし、組織としての規約があり、防災活動を行っていることが必要です。

【対象物品・補助金額など】  
右表1のとおり。



### 地域の防犯活動への支援

近年、市内の各地域で、児童・生徒の登下校時の見守り活動など、住民による自主的な防犯活

### 【対象となる組織】

市では、「犯罪のない安心・安全なまちづくり」を推進するため、活動に必要な物品や機材の購入・整備費に対する助成を行っています。申請方法など、詳しくは交通安全係へお問い合わせください。

【対象となる組織】  
防犯活動を行っているコミュニティや町内会など。ただし、組織としての規約が必要です。なお、補助は、1団体につき1回です。

【対象物品・補助金額など】  
右表2のとおり。

# 新庁舎を考える②

【問い合わせ先】 総務課新庁舎建設室 ☎ 22-3101

## 新庁舎建設構想等策定委員会の委員が決定

委員は有識者や各種分野代表、公募で選ばれた右表の15人です(敬称略)。今後検討を重ね、今秋には基本方針や考え方をまとめた「基本構想」を、平成23年の夏には新庁舎の具体的な機能や規模を示す「基本計画」の策定を目指します。

### 1回目の協議が始まりました！

4月27日に1回目の会議が開催され、市長から「新庁舎建設は、真に『新発田市100年の大計』と言える重要な大事業。まちづくりの核となる新庁舎の位置については、『現庁舎周辺』が最適である」とあいさつがありました。その後、事務局から市庁舎の現状や新庁舎建設に至るこれまでの経緯などについて説明。自由討議では、委員から「出生届と児童手当の申請が1か所ですらできなくて不便。窓口を集約したほうがいい」など、活発に意見が交わされました。

※会議の議事録は、市ホームページでご覧いただけます。



氏名	備考
◎ 相澤順一	新潟職業能力開発短期大学校住居環境科
○ 野口政男	地域審議会委員(豊浦)
青山良子	敬和学園大学人文学部共生社会学科准教授
神田敬一	(財)市まちづくり振興公社副理事長
小谷野 保	公募市民
篠田 昇	特定社会保険労務士
関川良平	しばた2世会代表
高澤大介	会社社長
高澤昌子	新発田自衛隊を支える女性の会会長
富樫政晴	新発田市自治会連合会会長
中村容子	公募市民
長谷川 了	公募市民
松田武子	地域審議会委員(加治川)
宮川京子	地域審議会委員(紫雲寺)
吉原悠博	新潟大学教育人間科学部非常任講師

※◎委員長、○副委員長